

# G-FLOW取り付け条件

G-FLOWを正しくお使いいただくために、お車の座席を必ずご確認ください。

ユニバーサル

## G-FLOWは、UNIVERSAL「汎用」カテゴリーの幼児拘束装置です。

グレコでは、ユニバーサルカテゴリー製品は、車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」幼児拘束装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けできると考えられます。

### 〈お奨めする取り付け座席の位置〉

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。  
ただし、フロントエアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

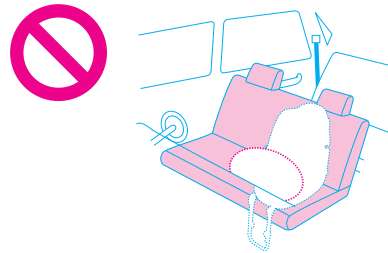
# ① 取り付け一覧表に記載の無いお車は以下の方法でご確認ください。

以下の条件に一つでも当てはまる座席にはお取り付けできません。

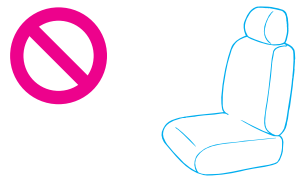
①お車の進行方向に対して後ろ向き、及び横向きでの座席



②フロントエアバッグが装備された座席

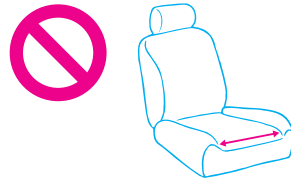


③補助席や幼児専用座席

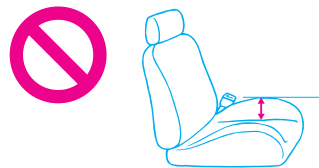


④座面のフラット面が狭く正しく取り付けができない座席。  
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)

座面のフラット面の幅が40cm未満の狭い座席



臀部のサポート部分の高さが10cm以上の座席

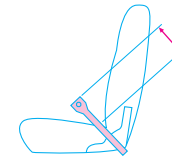


例)スポーツ車の座席



⑤以下のようなシートベルトの座席

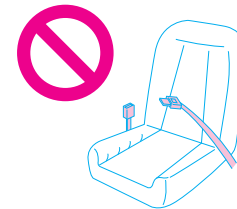
・バックル側のベルトが硬い樹脂製などで、かつバックルが15cm以上の座席(一部のRV車)



・臀部が大きく落ち込むため、バックル及び腰シートベルトが座面より15cm以上高くなる座席。



・2点式シートベルトの座席。



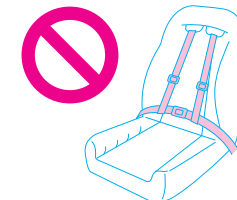
・シートベルトの取り付け部が上下とも巻き取り式の座席。



・バッシュシートベルトの座席。  
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)

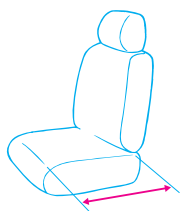


・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。

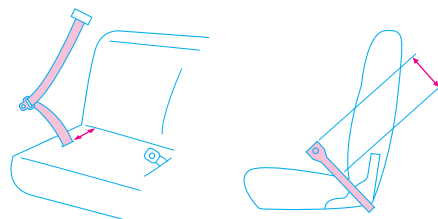


## ② ①の条件がどれにもあてはまらない場合には、更に以下の事をご確認ください。

①奥行きが、40cm以上であること

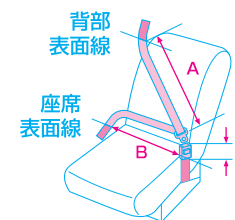


③バックルが出る位置が背もたれから奥行き10cm未満で、かつバックルの長さが15cm未満であること

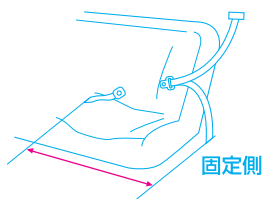


④シートベルト長さ（A+B+C）が235cm以上であること

1. スライドができる座席は一番後ろに引いた状態で測定を行ってください。
2. 測定方法はあくまでも目安です。ベルトの引出し口の位置や座席の形状によって220cm以下でも取り付けられる場合もありますので購入前に実際に取り付け確認を行ってください。
3. 平成9年前半以前の年式の車はベルトの長さが最近の車に比べかなり短い仕様になっています。そのため取り付けられない車種が多いので必ず取り付け確認を行ってください。



②シートベルトの取り付け幅が極端に小さく、ベースでバックルを踏みつける座席



本チェックはあくまでも目安ですので購入前に実際に取り付け確認をおこなってください

**⚠ 危険** 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- ・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。

**⚠ 警告** 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。